

# 令和8年度高校生ものづくりコンテスト

## 中国地区大会 電子回路組立部門

### 大会実施要項

課 題



期 日 令和8年6月14日（日）

会 場 （独）高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部  
岡山職業能力開発促進センター

主 催 中国地区高等学校工業教育研究会

主 管 岡山県高等学校工業教育協会電気系部会

後 援 岡山県電気工事工業組合  
（一財）電気技術者試験センター

# 令和 8 年度 高校生ものづくりコンテスト（電子回路組立部門）中国地区大会 課題

## 1. 課題

図 1 に示す課題システムを完成させた後、課題プログラムを作成する。

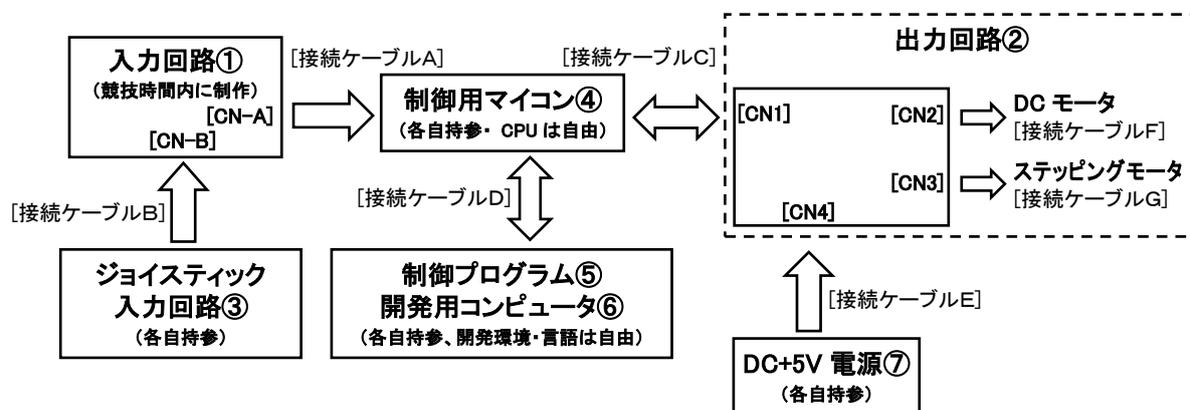


図 1 課題システムの構成

### (1) 入力回路①

設計仕様に基づき、支給される電子部品等を用いて電子回路基板を設計・製作する。

- (a) 設計仕様、電子部品等は大会当日に配布する。
- (b) 入力信号のレベルについては次のとおりとする。
  - タクトスイッチ／トグルスイッチ：大会当日指示
  - フォトインタラプタ：オープンするとき Low レベル、遮断したら High レベル
- (c) 設計した回路は支給する方眼紙(A4 版)に作図して提出する。
  - 定規・テンプレートは使用可。
  - 部品一覧を【資料 7】に示す。使用する部品の規格等は、予め熟知しておくこと。
- (d) 設計した回路図どおり、回路を製作する。
- (e) 抵抗については、位置の指定をしない。
- (f) ユニバーサル基板は、サンハヤト ICB-293 を支給する。
- (g) 外付けのジョイスティック入力回路③をコネクタ CN-B により接続する。

### (2) 出力回路②

出力回路②は、7 セグメント LED (2 個)、フルカラーLED (1 個/光拡散ゴムキャップ付)、DC モータ (1 個)、ステッピングモータ (1 個)、圧電サウンダ (1 個/他励振タイプ) が搭載されている。

- (a) 大会当日に使用する「出力回路②」は、百エデュケーションにて頒布している電子回路基板「令和 6 年度 高校生ものづくりコンテスト中国大会 出力回路」とする。
- (b) 回路図及び使用部品の一覧、基板シルク印刷を【資料 1】～【資料 3】に示す。
- (c) 各自が準備した電源で、制御用マイコン④との接続用コネクタ(CN1)もしくは DC ジャックコネクタ(CN4)から電源を供給する。

- (d) 10 ピンのフラットケーブル用コネクタ (CN1) により、「制御用マイコン④」と接続ケーブルCで接続する。
- (e) 出力回路②のタクトスイッチ TSW は入力用スイッチとして課題に使用する。
- (f) ステッピングモータは、日本電産コパル製 SPG27-1101 (販売：秋月電子通商、通販コード P-11839) を使用する。
- (g) DC モータと減速ギヤは、一体化されている FEETECH 製ギヤードモータ (販売：秋月電子通商、通販コード M-14801) を使用する。

※出力回路②のプリント回路基板を購入希望の方は、以下から購入できます。

百エデュケーション  
 〒683-00054 鳥取県米子市糞町 2-43-2  
 URL : <https://hyakuedu.wordpress.com/>  
 MAIL : [hyakuedu@gmail.com](mailto:hyakuedu@gmail.com)

(3) ジョイスティック入力回路③

- (a) アナログジョイスティック DIP 化キット (販売：秋月電子通商、通販コード 110263) を使用して競技者が作成し、入力回路①との接続ケーブルBとともに持参する。
- (b) ジョイスティック入力回路③の配線は図2を参考にし、接続ケーブルBにより入力回路①のコネクタ CN-B に接続できるようにする。ジョイスティック回路③の完成例を【資料6】に示す。緑色基板のシルク印刷文字が正しく読める向きで使用する。

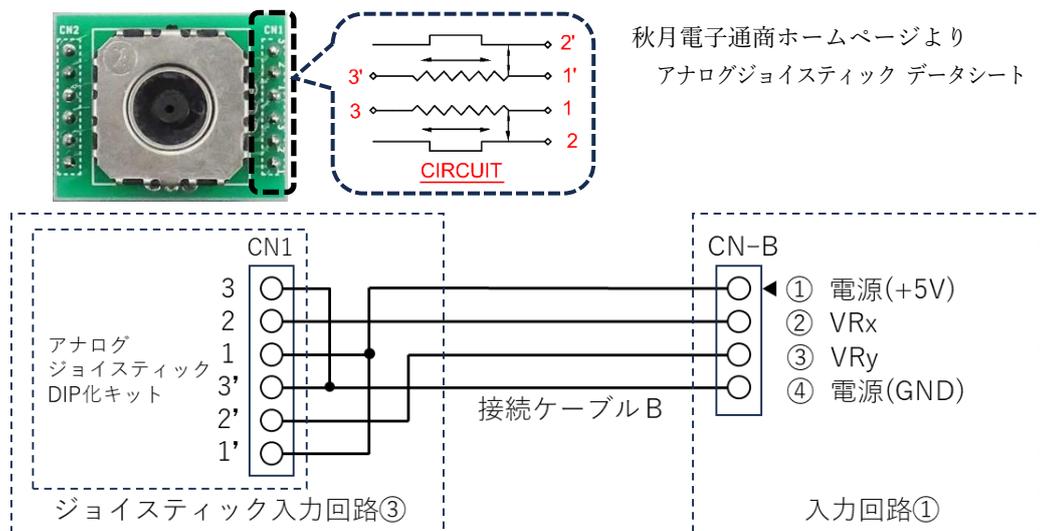


図2 ジョイスティック回路③と入力回路①との接続

(4) 制御用マイコン④

- (a) 使用する言語やコンピュータの性能・形状等の制限はない。  
開発環境は競技者がすべて持参する。
- (b) 各自が準備した電源装置から電源を供給する。

(5) 制御プログラム⑤

大会当日に提示する仕様に基づいたプログラムを作成し、「制御用マイコン④」にプログラムを転送し実行させる。

- (a) プログラム仕様は、大会当日に配布する。
- (b) プログラム言語や開発環境は自由とする。
- (c) プログラム作成時に必須となる使用マイコン固有のヘッダファイルや、コンパイラがもつ組込関数は、開発環境やコンパイラが標準で提供するものに限り、事前審査を受けることなく使用することができる。ただし、以下については競技者があらかじめ作成し、事前審査を経た上で持ち込むことを認める。事前に制作したプログラムの持ち込みは原則として認めない。

(イ) マイコンの動作環境に係るレジスタなどの初期設定（使用ポートのデータ方向設定を含む）と、タイマ割り込みや A/D 変換モジュールに係る初期設定の関数

config\_init()関数

(ロ) 制御対象装置②に限定した、ポートピン端子の定義や構造体、共用体宣言などの変数宣言

【記述例】

```

Struct bitset
{
    //--- 構造体宣言 bitset
    int SDI : 1; // bit0 シリアルデータ
    int SCK : 1; // bit1 シリアルクロック
    int LAT1 : 1; // bit2 7seg LED 系ラッチ
    int LAT2 : 1; // bit3 フルカラーLED,step モータ系ラッチ
    int DCM : 2; // bit4,5 DC モータの動作モード
    int BZ : 1; // bit6 圧電スピーカ
    int TSW : 1; // bit7 タクトスイッチ入力
};
struct bitset RC; // 構造体
union
{ // 共用体宣言 lm (LED & step Motor)
    struct
    {
        //--- 構造体宣言, bit というグループ名
        int SM : 4; // bit0 ~ bit3 ステッピングモータ励磁信号
        int R : 1; // bit4 フルカラーLED, 赤色
        int B : 1; // bit5 フルカラーLED, 青色
        int G : 1; // bit6 フルカラーLED, 緑色
        int res : 1; // bit7 未使用
    } bit; // bit アクセス名
    int b8; // byte アクセス名
} lm; // 共用体変数名

```

(ハ) 制御対象回路におけるシリアルデバイス(U1、U2、U3)の初期設定関数 serial\_init()関数

(ニ) 2桁7セグメント LED の表示関数

disp()関数

(ホ) ステッピングモータの初期設定関数

stepm\_init()関数

(ヘ) フルカラーLED とステッピングモータの動作制御関数

led\_stepmotor()関数

(ト) 7セグメント LED の 0～9、blank までの表示データ (配列または定数定義)

- ・ 配列を使う場合は、変数名を右のように定める。num[ ]
- ・ 定数定義を用いる場合は、定数名を以下のように定める。

SEG0, SEG1, SEG2, SEG3, SEG4, SEG5, SEG6, SEG7, SEG8, SEG9, BLNK

【記述例 1】

```
int num[11] = {0x3f, 0x06, 0x5b, 0x4f, 0x66, // 0,1,2,3,4
              0x6d, 0x7d, 0x27, 0x7f,      // 5,6,7,8
              0x6f,                          // 9 LEDは6箇所点灯
              0x00};                          // blank
```

【記述例 2】

```
#define SEG0 0x3f
```

```
#define SEG1 0x06
```

(省略)

```
#define SEG9 0x6f
```

```
#define BLNK 0x00
```

※ 0～9、blank 以外の表示については競技時間内で作成するものとする。

(注意) 関数を事前に作成し、持ち込む場合は、関数名、配列名、定義名称は上記(イ)～(ト)に示した関数名や定数名とすること。また、全ての関数の引数と戻り値は自由とする。

(d) (c) の (イ)～(ト)に定める関数、定数宣言などは、1つのヘッダファイルにまとめ、名前を mono\_con.h とする。

(e) (d) に定めるヘッダファイルは、期日までにメール (PDF 等) で提出する。

なお、審査後は、競技が開始されるまでヘッダファイルの内容変更を認めない。

(f) 競技中にいかなるドキュメントも参照することは禁止とする。

(g) 開発用コンピュータ⑤は USB メモリにアクセス出来るものとし、大会事務局が用意する USB メモリにて作成したプログラムを提出する。

(6) 開発用コンピュータ⑥

(a) 競技者が制御プログラムを作成するために持参するコンピュータに制限は設けない。

(b) 使用する制御用マイコンのプログラム開発環境も含めて持参すること。

(7) 電源⑦ (ACアダプタ等)

性能・形状などの制限は設けない。課題システムの動作に必要なとされる容量の 5V 電源を用意すること。

(8) 各自が用意するケーブル

接続ケーブルA、B及びCは、【資料2】及び【資料4】の(1)～(3)を参考にして、仕様に適合するコネクタを準備して各自が加工して持参する。接続ケーブルD及びEは各競技者の自由とする。

(9) 大会事務局が用意するケーブル

接続ケーブルF、Gは、【資料2】及び【資料4】の(5)、(6)に示したコネクタポスト仕様に適合するコネクタを用いて大会事務局が製作し、出力回路と共に当日配布する。

## 2. 作業条件

(1) 競技時間 2時間30分(150分)

(2) 大会事務局が準備、支給するもの

- (a) 入力回路①の制作に使用する電子部品、データシート及び配線材料など
- (b) 入力回路①の回路図を作成するために使用する A4 グラフ用紙(提出用、作業用)
- (c) 出力回路②(【資料5】)及びその回路図
- (d) 競技者番号シール(向きを考え基板の右上に貼ること)
- (e) 商用電源(AC100V コンセント4口、接地極なし)
- (f) プログラムリスト提出用 USB メモリ
- (g) メモ用紙(A4版の白紙2枚)

(3) 競技者が準備するもの

- (a) 制御用マイコン④及び開発用コンピュータ⑥を含む開発環境
- (b) ヘッドファイル  
mono\_con.h(制御用マイコンのレジスタ、ポート定義、ヘッドファイルの出力リスト  
(使用しない場合は提出しなくても良い))
- (c) ジョイスティック回路③
- (d) 接続ケーブル(1. 課題(8)各自が用意するケーブルを参照)
- (e) 電源⑦(出力回路②用)
- (f) 工具類  
工具類とは各自の作業に必要なもので、はんだごて、こて台、ニッパ、ラジオペンチ、ドライバ、テスタ、テーブルタップ、保護メガネ、基板支持台、リードベンダなど
- (g) 筆記用具及び定規・テンプレート等
- (h) 作業服

#### (4) 競技者の服装等

- (a) 競技中は、各学校で使用している作業服を着用する。
- (b) はんだ付け作業中は、メガネ又は保護メガネのどちらかと手袋等を着用する。

### 3. 注意事項

- (1) 作業を行うにあたっては、安全に十分注意し、大会当日は審査員の指示に従うこと。
- (2) 支給された部品及び材料はすべて使用し、それ以外のものは、使用しない。
- (3) リード線の切断時には、破片が周囲に飛び散らないように配慮すること。
- (4) プログラム作成時に使用するヘッダファイル、関数などは、使用する開発環境の標準のものに限る（ただし、マイコンの動作環境を記述したヘッダファイルは使用可）。
- (5) 競技に持ち込むパソコンや記憶媒体に、ひな形となるプログラムを事前書き込んでおくことを禁止する（ただし、マイコンの動作環境を記述したヘッダファイルは除く）。また競技中にパソコンに記憶してある他のプログラムの参照・複写の全てを禁止する。
- (6) 競技会場に資料の持ち込みは認めない。

### 4. 審査対象

- (1) 「入力回路①」の回路図
- (2) 「入力回路①」の製作基板
- (3) プログラム課題の動作状況
- (4) プログラムの内容（ソースプログラム）
- (5) その他（作業態度など）

## 5. 採点基準

### (1) 採点項目と観点

項目	配点	観 点
設計力	20	・ 図面の正確さ、完成度 ・ 配置 ・ 記号 ・ 文字
組み立て技術	30	・ 動作状況 ・ 部品処理（取付、損傷） ・ ハンダの状態 ・ 配線 ・ 配置
プログラミング技術	40	・ 動作状況 ・ プログラムの構造 ・ プログラムの書式、可読性
その他	10	・ 作業態度、作業工程 ・ 作業の安全性 ・ 工具及び部品の取り扱い ・ 清掃
合計	100	

### (2) 順位の決定方法

- ① 合計得点の高い順に 1 位、2 位、3 位とする。
- ② 同点の場合は、「組み立て技術」得点の高い者を高位とする。
- ③ 「組み立て技術」得点も同点の場合は、「プログラミング技術」得点の高い者を高位とする。
- ④ さらに同点の場合は、「設計力」得点の高い者を高位とする。それでもなお同点の場合は、全体の完成度から順位を決定する。

## 6. その他

### (1) はんだについて

鉛フリーはんだ（HOZAN HS-313  $\phi$ 0.8 Sn/3Ag/0.5Cu）を使用する。

### (2) 動作確認について

プレ審査時に、競技者は審査員の指示に従い、競技者がシステムを操作して動作の確認を受けること。

### (3) 回路図について

配置は、基本的に信号の流れは左から右に、電圧は高いほうが上、低いほうを下にすること。回路記号は新記号（JIS C 0617、IEC 60617）に準拠する。使用する回路記号は、**【資料 8】**に示すものとする。詳細は、ものづくりコンテスト電子回路組立部門指導書（平成 24 年度版）を参考のこと。

[http://www.zenjouden.com/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=294](http://www.zenjouden.com/?action=common_download_main&upload_id=294)

#### (4) 部品取り付け仕様及び標準的なはんだ付けについて

##### (a) 部品の取り付け方向と表示

- ① 部品はすべて部品面に取り付ける。
- ② 部品はプリント基板に対して水平または垂直に取り付けるものとし、曲がりの範囲は1mm以下とする。
- ③ 抵抗のリード線は、両端の間隔が4ピッチ(2.54mm×4=10.16mm)以上となる位置で折り曲げること。
- ④ 抵抗の取り付け方向は、カラーコードが左から右方向へ、下から上方向へ読めるように取り付ける。
- ⑤ 部品の表示又は定格が識別できるように取り付ける。

##### (b) 部品の取り付け方法

- ① 抵抗は、プリント基板にほぼ密着させて取り付けること。なお、浮き上がり限界は図3に示すとおりとする。

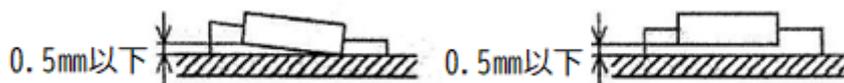


図3 抵抗の浮き上がり限界

- ② コネクタ、トグルスイッチ、タクトスイッチ等は、止まりがあるものは止まりまで差し込み、止まりがないものは基板に密着して取り付けること。なお、浮き上がり限界は図4に示すとおりとし、底面に突起がある場合は突起の先端からの寸法とする。

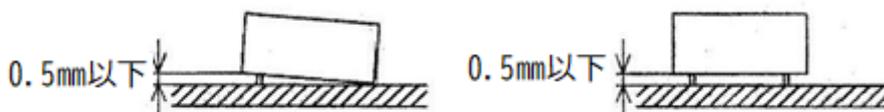


図4 ICソケット等の浮き上がり限界

- ③ 抵抗のリード線は左右バランスよく取り付け、図5に示すような無理な張力を加えないこと。



図5 リード線への無理な張力

##### (c) 部品リード線の折り曲げ、処理方法

- ① 抵抗、コンデンサのリード線は、図6のようにランドにほぼ密着させて折り曲げ、ランドの周囲を基準として切断する。切断面がランドから0.5mm以上出ることがないようにすること。



図6 抵抗、コンデンサのリード線の折り曲げ

- ② 抵抗およびコンデンサのリード線の折り曲げ方向は、図7のようにスズメッキ線を走らせる方向とする。

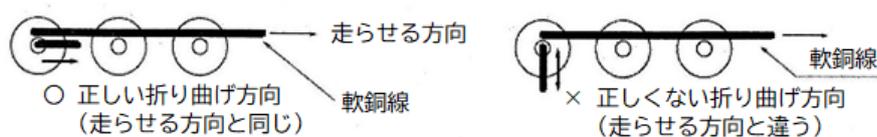


図7 リード線の折り曲げ方向

- ③ フォトインタラプタ、コネクタ、トグルスイッチ、タクトスイッチは、プリント板に差し込み、リード線を折り曲げずにハンダ付けすること。

(d) 設計製作基板におけるスズメッキ線による配線

- ① 配線は支給されたスズメッキ線を使用すること。部品リード線の使用は不可とする。
- ② 配線の際に基板のランドを剥離させないように注意すること。
- ③ 配線方向はX-Y方向とする。
- ④ 配線はできるだけランドの中央寄りに配し、ランドの外周をはみ出さないこと。
- ⑤ 配線は基板から浮き上がらないように直線的に行い、浮き上がりの許容差は図8に示すとおりとする。

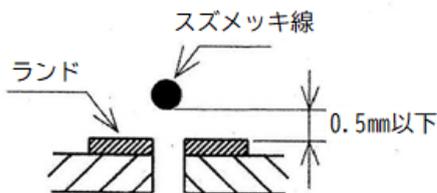


図8 配線の浮き上がり限界

- ⑥ スズメッキ配線の直線部分が30mmを超える場合は、浮き上がり防止のために中間にはんだを施してもかまわない。
- ⑦ 配線の変える場合は、図9のようにランド上で行い、そのランドをハンダ付けすること。また2方向から直角に交わるスズメッキ線を配線するランドでは、スズメッキ線を図10のように切断し、そのランドをハンダ付けすること。



図9 配線の変える場合

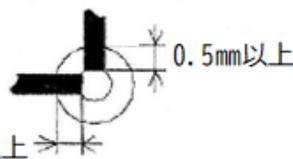


図10 直角に交わる場合

- ⑧ 抵抗等のリード線とスズメッキ線を接続する場合は、図11のようにランドの中央寄りで接続するものとし、ランドの外周をはみ出さないこと。

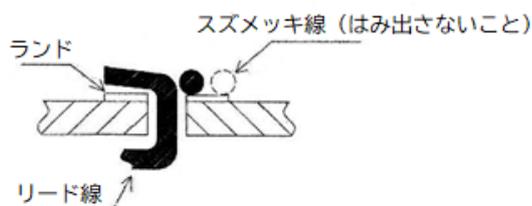


図11 抵抗とリード線との接

- ⑨ スズメッキ線の直線部分が50.8mmを超える場合は、途中で1箇所ハンダ付けによる固定を施すこと。

(e) 電子回路基板組み立て仕様

スペーサの取り付け

- ① スペーサのネジは基板側のみに取り付けること。
- ② ネジの締め付けトルクは特に定めないが、ネジまたはスペーサが指で簡単に回ってはならない。

(f) ハンダ付け作業の仕様

(イ) ハンダ付け作業中

メガネ又は保護メガネのどちらかと手袋等を着用していること。  
 \*原則、入力回路製作中（配置や切断時など）は着用すること。

(ロ) ハンダの融着性

- ① 完全に融着していること。
- ② ハンダ固有の光沢があること。
- ③ 表面がなめらかであること。

(ハ) 状態

- ① ハンダのぬれ性
  - ・ハンダが接合するリード線、銅箔によく流れ、長いすそを引いていること。
  - ・部品穴のハンダ付けは、ランドの表面にハンダのぬれ性があること。
- ② ハンダの量
  - ・ハンダの量は、部品リード線の折り曲げ部分、作業者が切断した切り口等を
  - ・ハンダが覆い、かつ、線の形がわかるものとし、その例を図12に示す。  
 ただし、折り曲げず、かつ、切断せずに取り付ける部品リードのハンダ付けを行う場合は、リードの先端まで全面ハンダで覆われていなくてもよい。
- ③ その他
  - ・部品端子の線材接合部は、穴あきのないようにハンダ付けする。
  - ・ランドのないところで、線又は部品リードを接続しないこと。(空中配線接続をしてはならない)
  - ・ランドをはく離させないこと。
  - ・ジャンパー線を用いず、裏面のみで配線をおこなうこと。

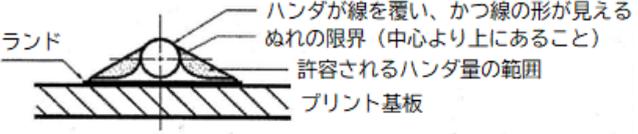
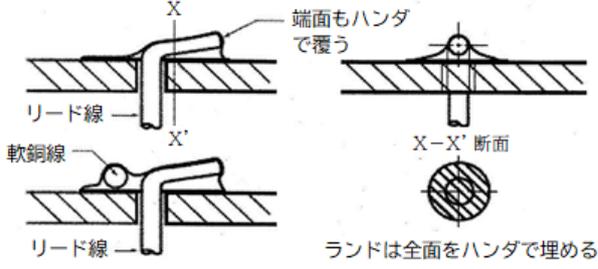
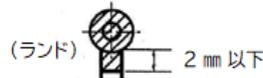
ハンダ付け量の基準	
ランドのハンダ付け標準	
ハンダの拡散範囲	

図12 ハンダ付けの状態

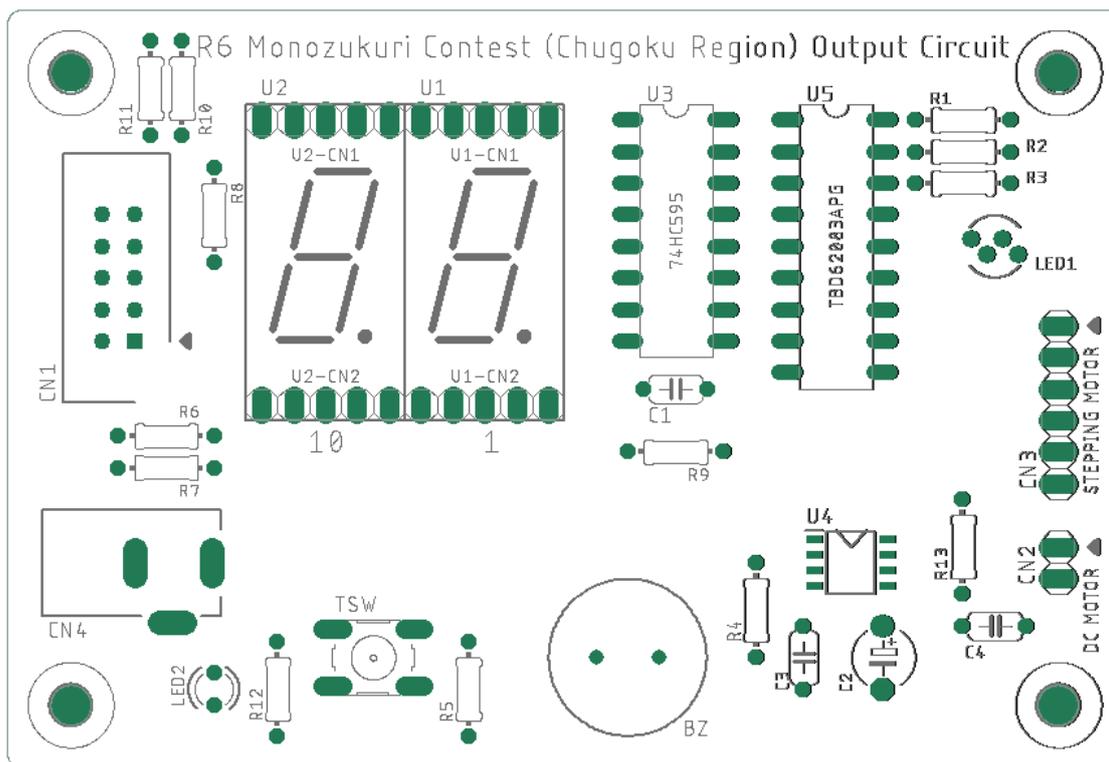


【資料2】出力回路②の部品表

No.	部品番号	部品名称	規格等	部品型番	会社名	数量	秋月電子通商 通販コード
1	PCB	制御対象回路基板	89mm×61mm, 専用プリント基板	-	-	1	-
2	R1, R2	カーボン抵抗	330Ω, ±5%, 1/6W	CF16J330RB	FAITHFUL LINK INDUSTRIAL CORP.	2	R-16331
3	R3	カーボン抵抗	560Ω, ±5%, 1/6W	RD16S 560E	SHIH HAO Electronics CO.,LTD	1	R-16561
4	R4	カーボン抵抗	1kΩ, ±5%, 1/6W	CF16J1KB	FAITHFUL LINK INDUSTRIAL CORP.	1	R-16102
5	R5-R11	カーボン抵抗	10kΩ, ±5%, 1/6W	RD16S 10K	SHIH HAO Electronics CO.,LTD	7	R-16103
6	R12	カーボン抵抗	1.5kΩ ±5%, 1/6W	RD16S 1K5	SHIH HAO Electronics CO.,LTD	1	R-16152
7	R13	カーボン抵抗	100Ω ±5%, 1/4W	CFS100J100RB	FAITHFUL LINK INDUSTRIAL CORP.	1	R-07967
8	C1, C3, C4	リード型積層セラミックコンデンサ	0.1uF, 50V, X7R, 5mm	RDER71H104K0K1H03B	株式会社村田製作所(muRata)	3	P-08144
9	C2	電解コンデンサ	470uF, 16V, 105°C	16WX4470MEFC8X9	ルビコン株式会社(Rubycon)	1	P-08426
10	U1, U2	青色7セグメントLEDシリアルドライバキット	青色LED, DIP化キット	AE-7SEG-BOARD-KIT-BLUE	株式会社秋月電子通商	2	K-10344
11	U3	8ビットシフトレジスタ/ラッチ	74HC595, DIP型(相当品可)	U74HC595AG-D16-T		1	I-14053
12	U4	ブラシ付きモーター用Hブリッジドライバ	Hブリッジドライバ	BD6211F-E2	ローム株式会社(ROHM)	1	I-05087
13	U5	8chシンクタイブDMOSトランジスタアレイ	DMOSトランジスタアレイ	TBD62083APG	株式会社東芝セミコンダクター社(TOSHIBA)	1	I-10669
14	U3	ICソケット, 16ピン	DIP型ICソケット, 16pin	2227-16-03	Neltron Industrial Co., Ltd.	1	P-00007
15	U5	ICソケット, 18ピン	DIP型ICソケット, 18pin	2227-18-03	Neltron Industrial Co., Ltd.	1	P-00008
16	TSW	タクトスイッチ	タクトスイッチ (黄) ※相当品可	TS-0606-F-N-YLW	Cosland Co., Ltd.	1	P-03650
17	BZ	圧電スピーカ	圧電サウンダ, 13mm	PKM13EPYH4000-A0	株式会社村田製作所(muRata)	1	P-04118
18	LED1	RGBフルカラーLED	φ5mm, アノードコモン	OSTAMA5B31A	OptoSupply	1	I-12167
19	LED-CAP	LED光拡散キャップ	5mm, 白	A-48068L-KC-D2	株式会社朝日ラバー	1	I-00641
20	LED2	発光ダイオード(緑)	3mm, 緑色525nm, 70度	OSG5TA3Z74A	OptoSupply	1	I-11635
21	CN1	ボックスヘッダ10P (2x5)	10ピン(2列×5)ストレートピンヘッダ 逆挿入防止形ボックスコネクタ	BH-10SG	Useconn Electronics Ltd.	1	C-12664
22	CN2	1列 x 2ピンヘッダ	1x2ストレートピンヘッダ	PH-1X2SG	Useconn Electronics Ltd.	1	C-08593
23	CN3	1列 x 6ピンヘッダ	1x6ストレートピンヘッダ	PH-1x6SG/RH	Useconn Electronics Ltd.	1	C-01669
24	CN4	標準DCジャック	2.1mm標準DCジャック, 基板取付用	MJ-179PH	マル信無線電機株式会社	1	C-06568
25	ACT1	減速機付きDCモータ	ギヤードモータ (相当品可)	FM90	FEETECH RC MODEL CO., Ltd.	1	M-14801
26	ACT2	減速機付きステッピングモータ	減速比1:5, 2相ユニポーラ型	SPG27-1101	日本電産コバルト電子株式会社(Nidec)	1	P-11839

[参考]

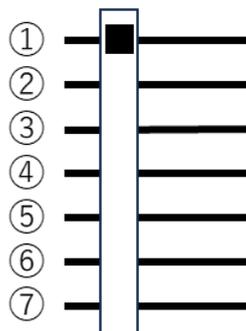
【資料3】出力回路②の基板シルク印刷等



【資料4】競技に使用するケーブルコネクタのピン配置

(1) ケーブル A

入力回路基板①のコネクタ CN-A は、制御用マイコン④との接続用コネクタとして 2.54mm ピッチの 7 ピンストレートピンヘッダ (販売: 秋月電子通商、通販コード 100167 を 7 ピンに切断したもの) を使用する。このピンヘッダに適合するコネクタ用ハウジングは、2.54mm ピッチ、7 ピン用 (販売: 秋月電子通商、通販コード 112156) を推奨するが、相当品でもよい。なお、ピンヘッダには①番ピンを示すマーク (白色) を示す。入力 A1 及び A2 はアナログ信号、入力 D1~D3 はデジタル信号の入力に使用する。

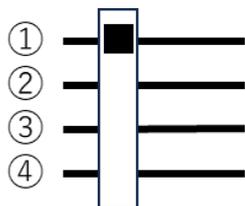


Pin	機能名称
①	電源(+5V)
②	入力 A1
③	入力 A2
④	入力 D1
⑤	入力 D2
⑥	入力 D3
⑦	電源(GND)

(2) ケーブル B

入力回路基板①のコネクタ CN-B は、ジョイスティック入力回路基板③との接続用コネクタとして 2.54mm ピッチの 4 ピンストレートピンヘッダ (販売: 秋月電子通商、通販コード 103950) を使用する。このピンヘッダに適合するコネクタ用ハウジングは、2.54mm ピッチ、

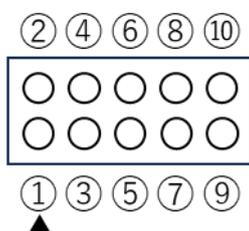
4ピン用（販売：秋月電子通商、通販コード 112153）を推奨するが、相当品でもよい。なお、ピンヘッダには①番ピンを示すマーク（白色）を示す。入力 VRx 及び VRy はジョイスティック入力回路③からのアナログ信号入力に使用する。



Pin	機能名称
①	電源(+5V)
②	入力 VRx
③	入力 VRy
④	電源(GND)

### (3) ケーブル C

制御対象装置②は、2.54mm ピッチの 10 ピンフラットケーブルコネクタ（2 列× 5 のボックスタイププラグ、販売：秋月電子通商、通販コード C-12664）を使用し、ピン配置は下図のとおりである。このコネクタの相当品はオムロン製 XG4C-1031 である。



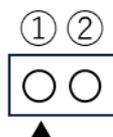
Pin	機能名称	Pin	機能名称
①	電源(+5V)	⑥	LTA2(ラッチ信号 2) ※フルカラーLED、ステッピングモータ
②	TSW(タクトスイッチ)	⑦	LTA1(ラッチ信号 1) ※7セグメント LED
③	BZ(圧電スピーカ)	⑧	SCK(シリアルクロック)
④	RIN(DC モータ逆回転)	⑨	SDI(シリアルデータ)
⑤	FIN(DC モータ正回転)	⑩	電源(GND)

### (4) ケーブル E

制御対象装置②は、5V 電源供給用の DC ジャックにマル信無線製 MJ-179PH（販売：秋月電子通商、通販コード C-6568）を使用している。DC ジャックは標準的な  $\phi$  2.1mm、センタープラスのジャックである。

### (5) ケーブル F

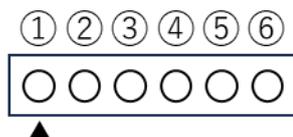
制御対象回路の DC モータへの接続用コネクタ(CN2)のピン配置は下図のとおりである。



Pin	機能名称
①	出力
②	出力

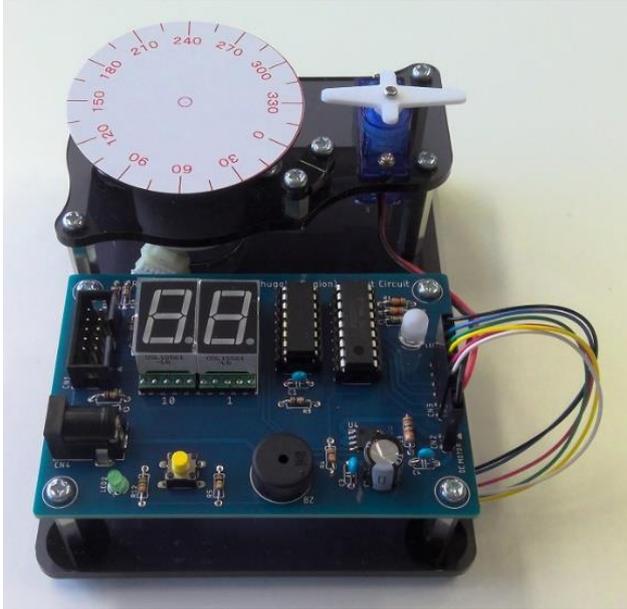
### (6) ケーブル G

制御対象回路のステッピングモータへの接続用コネクタ(CN3)のピン配置は下図のとおりである。

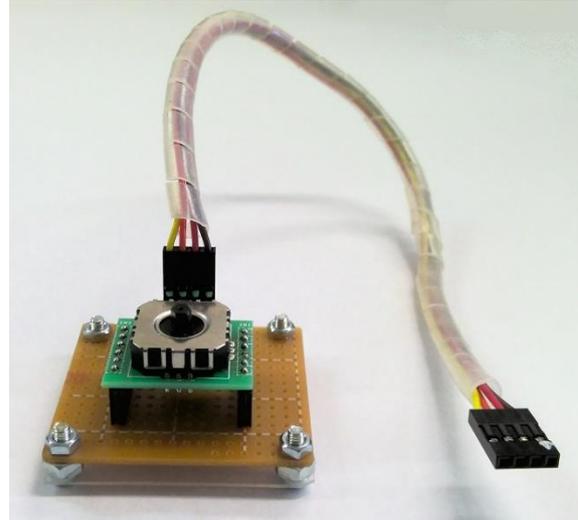


Pin	機能名称
①	$\phi$ 1C
②	$\phi$ 2C
③	$\phi$ 2
④	$\phi$ 1
⑤	$\phi$ 2
⑥	$\phi$ 1

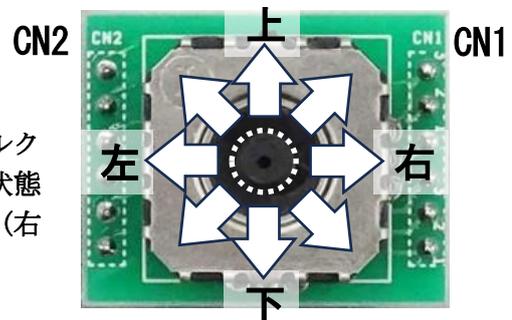
【資料5】出力回路②



【資料6】ジョイスティック回路③の完成例



※ジョイスティックを倒す方向は、緑色基板のシルク印刷文字 CN1・CN2 が正しく読める向きに置いた状態で、上(奥側)・下(手前側)・左・右または斜め方向(右上・右下・左上・左下)とする。

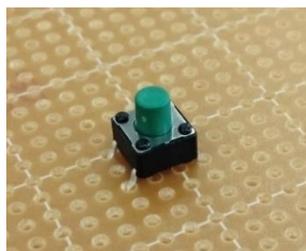


【資料7】入力回路①の部品表

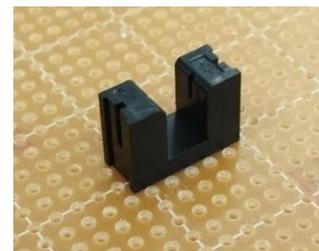
番号	記号	品名	規格・形式等	数量
1		ユニバーサル基板	サンハヤト ICB-293	1
2	SW1	基板用トグルスイッチ	Cosland Co., Ltd. 2MS1-T1-B4-M2-Q-E	1
3	SW2	タクトスイッチ	Cosland Co., Ltd. DTS-63-N-V-(色指定)	1
4	PI	フォトインタラプタ	コーデンシ株式会社 SG206	1
5	R1~R3	カーボン抵抗	10kΩ 1/4W	3
6	R4	カーボン抵抗	180Ω 1/4W	1
7	CN-A	ピンヘッダ(7P)	7ピン・ストレート(制御用マイコン④接続用)	1
8	CN-B	ピンヘッダ(4P)	4ピン・ストレート(ジョイスティック回路③接続用)	1
9		ネジ付きスペーサ	3mm プラネジ(7mm)+六角スペーサ(14mm)	各 4
10		スズメッキ線	φ0.5mm	適量
11		鉛フリーはんだ	HOZAN HS-313 φ0.8mm	適量



トグルスイッチ(SW1)

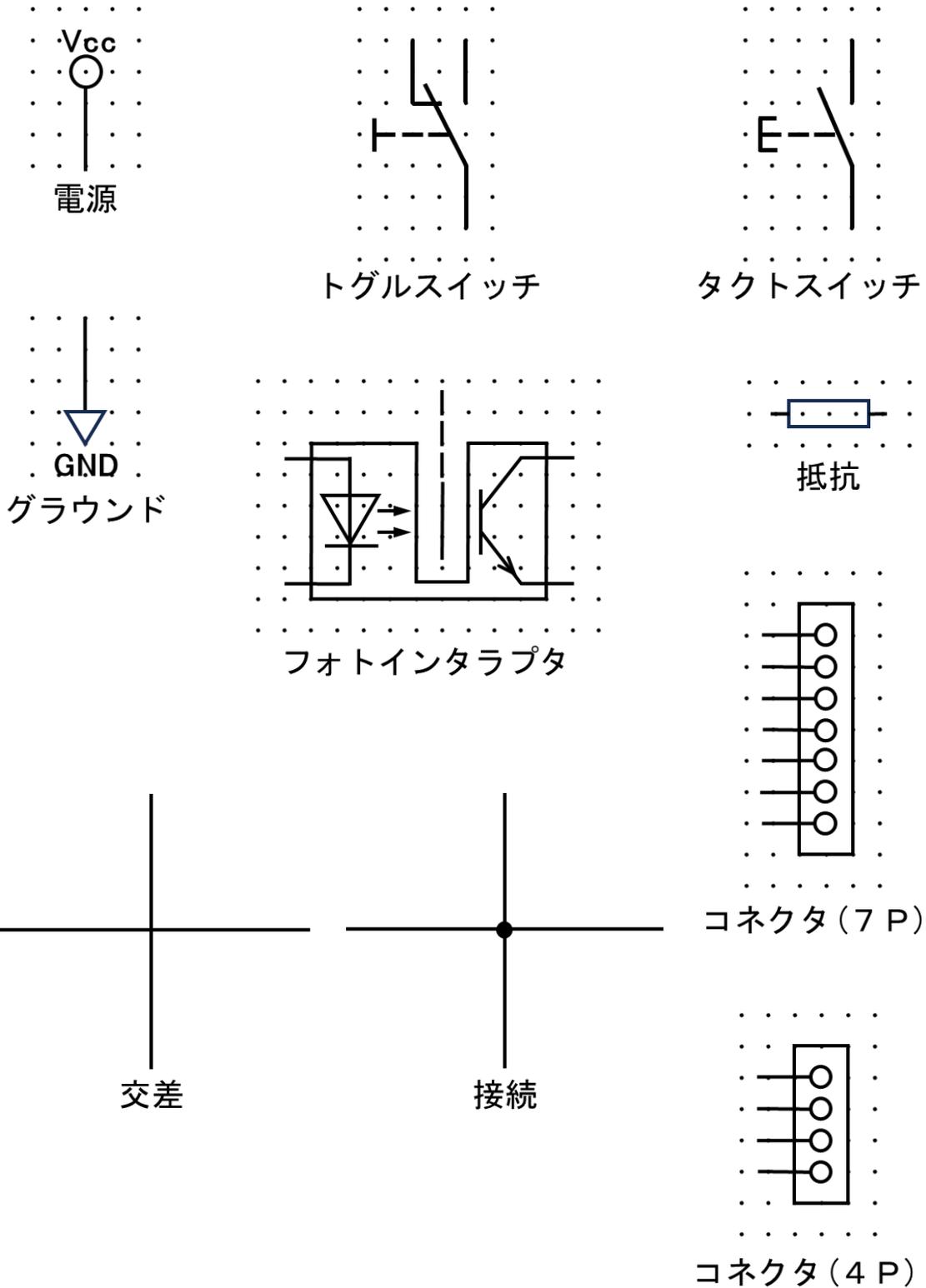


タクトスイッチ(SW2)



フォトインタラプタ(PI)

【資料8】配線組立基板の製図に使用する図記号



※注意

図記号周辺のグリッドは大きさの割合を示すもので、図記号には関係ない。

この図記号は、JIS C 0617 を参照したものである。